

会 議 録 (1)

会 議 の 名 称	令和4年度 第5回 入間市廃棄物減量等推進審議会
開 催 日 時	令和5年1月16日(月) 午後2時00分 開会・午後3時20分 閉会
開 催 場 所	入間市リサイクルプラザ 2階 研修室
議 長 氏 名	入間市廃棄物減量等推進審議会 会長 小林昌幸
出席委員(者)氏名	有賀健高 上田圭吾 岡崎洋志 小野吉雄 栗山三千代 河野真夢 小林昌幸 齋藤勝久 坂本蓉 竹内國雄 永井健一 三木敏正 村野裕子 森洋子
欠席委員(者)氏名	近藤信弘
説明者の職氏名	廃棄物減量等推進審議会委員 有賀健高 エコ・クリーン政策課(事務局)主幹 松落義夫
会 議 次 第 (一部非公開)	1 開会 2 会長あいさつ 3 議題 家庭ごみ収集回数の見直しについて (1) 地球温暖化対策とごみ減量について (2) 県内他市とのごみ排出量の比較、雑がみについて 4 報告事項 (1) ごみ減量に関する市民アンケート結果について (2) プラスチックごみ一括回収に伴う特別交付税について (3) その他(非公開) 5 閉会
非 公 開 理 由	・入間市情報公開条例第7条第1項第1号「個人に関する情報」に該当するため ・入間市情報公開条例第7条第1項第5号「実施機関が・・・行う事務又は事業に関する情報」に該当するため
傍 聴 者 数	1名
配 布 資 料	資料 ・【資料1】第5回入間市廃棄物減量等推進審議会資料 ・【資料2】令和4年度 第5回入間市廃棄物減量等推進審議会資料(県内他市とのごみ排出量の比較、雑がみについて) ・【資料3】ごみ減量化に関するアンケート調査結果 ・【資料4】プラスチックごみ一括回収に伴う特別交付税について(試算)

事務局職員職氏名	環境経済部長 環境経済部次長 環境経済部エコ・クリーン政策課長 環境経済部副参事（脱炭素・資源循環担当） エコ・クリーン政策課 主幹 松落義夫 総合クリーンセンター 所長 小林正和、副参事 橋本賢司 主幹 水村昌秋	原嶋裕子 横田一洋 竹廣由美 中村 慧
会議録作成方法	要点筆記	

会 議 録 (2)

議 事 の 概 要 (経 過) ・ 決 定 事 項

○審議事項

家庭ごみ収集回数の見直しについて

- (1) 地球温暖化対策とごみ減量について
【資料1】を用いて、有賀委員より説明を行った。
- (2) 県内他市とのごみ排出量の比較、雑がみについて
【資料2】を用いて、事務局より説明を行った。

○報告事項

- (1) ごみ減量に関する市民アンケート結果について
【資料3】を用いて、事務局より説明を行った。
- (2) プラスチックごみ一括回収に伴う特別交付税について
【資料4】を用いて、事務局より説明を行った。
- (3) その他 (非公開)

○その他

- ・会議終了後、施設見学 (クリーンセンター、リサイクルプラザ) を自由参加として行い、会議出席委員14名のうち11名が参加した。

以上

会 議 録 (3)

発 言 者	発 言 内 容
司会 小林会長	<p>1 開 会 (配布資料の確認を含む。)</p> <p>2 会長あいさつ</p> <p>3 審議事項</p>
	<p>家庭ごみ収集回数の見直しについて</p>
	<p>(1) 地球温暖化対策とごみ減量について</p> <p>【資料1】を用いて有賀委員より説明を行いました。</p>
小林会長 三木委員	<p>ただいまの有賀委員の説明につきまして、質問があればお願いします。</p> <p>南極大陸の表面積約1,400万km²と言われてもイメージできません。例えば、日本の面積の何倍などの表現はできませんか。</p>
有賀委員 三木委員	<p>日本は、38万km²であるので、30倍以上あることになります。</p> <p>説明の中で、海外では生ごみを可燃ごみに出さないところがあると説明がありました。どのようにして出すのですか。</p>
有賀委員	<p>生ごみを肥料にするための容器があります。フランスなどでは、各家庭で設置が義務付けられているところもあります。生ごみは肥料にするという考え方です。</p>
河野委員	<p>リサイクルをすればするほど、リサイクルをするためにかかるエネルギーの方が環境に良くないとの話を聞いたことがあります。リサイクルの方法によっては、そのようなことがあるのですか。</p>
有賀委員	<p>例えば、ペットボトルからペットボトルへのリサイクルは10%から20%程度と聞いています。集めた資源をリサイクルする仕組みがないと最終的には焼却してしまうことになる場合もあります。そうなりとリサイクルであっても効果が低いものとなってしまいます。</p>
齋藤委員	<p>プラスチックに代わって紙をできるだけ使うこととしていますが、どのような考え方をしていけば良いか、例えば、間伐材を多く使っていけばよいのでしょうか。</p>
有賀委員	<p>その場合は 植林というものも一緒に考えていただきたいです。樹木を使ってしまうということはCO₂を吸収していた森林が無くなってしまうことになるので、その分、植樹し吸収量を増やすようします。なぜ間伐材が大事かと言いますと、間伐しないと森林全体が老朽化し、森林として使えなくなり、正しく育たなくなってしまいます。間伐が正しく行われていない森林はCO₂排出の増加につながってしまうので、間伐材を使うというのが最近言</p>

発 言 者	発 言 内 容
	<p>われるようになっていますが、なかなかそのニーズが増えていません。林業自体が高齢化しており人材が足りていないことも問題となり、間伐材を使うことが非常に大事になっています。</p>
小林会長	<p>他に質疑はありませんか。なければ続きまして、県内他市のごみの排出量の比較、雑がみについてお願い致します。</p>
事務局	<p>(2) 県内他市のごみの排出量の比較、雑がみについて 【資料2】用いて事務局より説明を行いました。</p>
小林会長	<p>ただいま事務局より説明がありましたが、みなさんは減量を推進する立場でお集まりいただいています。それを踏まえたうえでご意見を頂きたいと思えます。</p>
小林会長	<p>当市は可燃ごみが週3回でごみを出すのに便利ですが、3回ですと気楽にごみを出してしまうような傾向もあるのではないのかと思いますが、可燃ごみの収集は週3回、若しくは2回のどちらがよろしいか、ご意見を伺います。</p>
三木委員	<p>私は自治会の区長をしております。ごみ集積所は私の住む地区では、自治会が管理しています。ごみ集積所のことに関してはかなり神経質になっております。そのような中で、可燃ごみの収集は週3回ではなくて2回でもいいという意見もあり、収集日は火・木・土ですが、土曜日がなくても問題ないのではないかと。という意見が非常に多いです。</p> <p>あとは週2回にしてごみの量が減るかどうかにについては何も言えないので、様子を見てということになるかと思いますが、収集回数に関しては週2回で全く問題ないと思えます。</p>
小林会長	<p>他にご意見がありますか。</p>
栗山委員	<p>現状週3回のパターンとしては、月・水・金の地区と火・木・土の地区になっていますが、仮に2回にした場合には どういうパターンで回収するのでしょうか。</p>
事務局	<p>収集パターンは今後の審議会で協議いただきます。</p>
小林会長	<p>以前の審議会の中で、収集業者がなかなか人員を募集しても集まらない。非常に大変だというご意見を受けております。その辺りを考慮しますと3回を維持するのはなかなか大変かと思えます。そのようなこともご理解いただいで皆さんのご意見をいただければと思えます。</p>
岡崎委員	<p>回数を減らしたらごみが減るのではなくて、どちらかというと分別をもう</p>

発 言 者	発 言 内 容
	<p>少し啓発していかないと減らないのではないかと思います。家庭内でも私は細かく分別しているのですが、それでも相当量、ごみ箱から拾って分別し直します。啓発をしないとごみの量が減らないのではないのでしょうか。他市ではごみの有料化を実施しているところもありますが、埼玉県他市でごみ袋の有料化を実施しているところはどこですか。</p>
事務局	<p>埼玉県内では約10市町がごみ袋の有料化を実施しています。具体的には、秩父市、加須市、蓮田市、幸手市、白岡市、横瀬町、皆野町、長瀨町、小鹿野町、杉戸町です。</p>
小林会長	<p>県内ではごみ袋の有料化を実施しているところは非常に少ないということですね。</p>
村野委員	<p>この議論から可燃ごみの収集回収を週3回から2回にする理由が私には理解できません。例えば所沢市と入間市の人口の差が約倍ありますが、一人当たりのごみの量から見ると、2割くらい多いようです。それに対しての対策をどのようにしていくかを検討しなければ、回収回数のお話をしても答えは出ないと思います。</p>
小林会長	<p>簡単に言うと回収回数を少なくしても可燃ごみが減るということではなく、ごみの有料化を実施すると雑がみが増えるという話があったかと思いますが、結果的に可燃ごみの量が減ってくるのではないかと思います。他に何かありますか。</p>
斉藤委員	<p>入間市の場合は一人1日あたり557gの可燃ごみがあります。その中の雑がみを別の回収方法にするので、可燃ごみを3回から2回にしてもいいのではないのでしょうか。</p>
河野委員	<p>入間市はコンポストについて助成があると思うのですが、可燃ごみが週2回になると家に生ごみを置く期間が長くなるので、生ごみを乾燥させる家電を買うことも考えています。市によってはその助成金などもあるようですが、入間市はどうですか。</p>
事務局	<p>現在、生ごみのコンポストの容器と電気式の生ごみの処理製品に対する補助金があります。金額は購入額の3分の1で限度額は2万円となっております。</p>
小林会長	<p>問い合わせ先について、どのようにしたらよいですか。</p>
事務局	<p>入間市総合クリーンセンターへお問い合わせをお願いします。申請書類はホームページでダウンロードでき、生活環境課にも置いてあります。</p>

発 言 者	発 言 内 容
河野委員	最近は新しい商品も多く気軽ににおけるサイズもあるようなので、ごみを減らすのにいいですよという周知があってもいいと思います。市としてこのようなことをやっています。こういったものを使うと良いですよ。と知らせることがごみの排出量の削減にもつながるかと思います。
事務局	補助金については、ホームページにも掲載しております。また、広報いるまでもご案内はさせていただいております。
河野委員	市として1人当たりのごみの排出量を減らしたい。こういうものを使ったらどうですか。ということを書いて欲しいです。
小林会長	市でメーカー名など特定の機種を出して、このようなものを使ってごみを減らしたい。などのお知らせをすることは、問題がある場合もありますので、メーカーや機種は個人で判断し、補助対象となるかなどを市へ相談いただければと思います。
河野委員	市民がそのような機器を持つという意識を深めること。乾燥させて重量を減らしごみとして出すということです。このような意識を広めていただければと思いました。
小林会長	貴重なご意見をいただきありがとうございます。事務局で考えていただき、市民に周知していただければと思います。他にございますか。
村野委員	雑がみですが、資料2の現状の改善点に雑がみのイラストを記載した雑がみ回収袋を作成し、とありますが、どのようなものでしょうか。 また、収集回数を3回から2回にした場合、いつごろからスタートしたいと考えていますか。
事務局	まず、雑がみの回収袋ですが、紙製のもので、ご自宅で雑がみをこの紙袋に入れてそのまま集積所に出していただければと思います。回収袋にはどういったものが雑がみなのか。というのをイラストで記載した紙袋を考えています。
村野委員	そこにに入れてそのまま出すということですか。
事務局	そうです。
村野委員	それを無料で配布するのでしょうか。
事務局	どういった形で作成し、配布するかということについては、検討させていただきたいと思っております。
村野委員	収集回収を2回にするとした場合の実施時期は、未定です。 ありがとうございます。

発 言 者	発 言 内 容
小林会長	他になにかご意見等ありますでしょうか。
栗山委員	普段から私自身は雑がみを分けるように努力して分別していますが、出してはいけない紙というものが書いてあり、自分で間違っしてしまっていることもあるかもしれないのですが、間違っした場合はどうなるのでしょうか。
事務局	明らかに分別が間違っしているということであれば、回収されないと考えます。
栗山委員	違うものが混ざっている時に、それがリサイクルに行ってしまった場合にどうなりますか。例えば雑がみで、ビニールの部分はとるとなっていて、間違っして出して問題ないのでしょうか。
事務局	なるべく分別していただきたいのですが、万が一間違っして入ってしまった場合でも回収されます。ただ、リサイクルする際に、質が悪いということになりますので、なるべく正しい分別をしていただきたいと思ひます。
小林会長	雑がみについては、分別を徹底して資源化を進めていくということになると思ひます。
事務局	審議事項は以上となります。続きまして、次第4番報告事項について事務局よりお願いします。
事務局	<p>報告事項</p> <p>(1) ごみ減量に関する市民アンケート結果について</p> <p>(2) プラスチックごみ一括回収に伴う特別交付税について</p> <p>資料3及び資料4を用いて説明を行いました。</p>
小林会長	それでは全議案とも終了となりましたので、以上で議長を終了させていただきます、進行を事務局にお渡ししたいと思います。
事務局	最後に永井副会長より閉会のご挨拶をお願いいたします。
永井副会長	<p>貴重なご意見を賜りましてありがとうございました。今年度の審議会は、10月5日に市長からプラスチックごみの一括回収と、可燃ごみの収集回数の見直しで諮問を受け、審議してまいりました。11月18日に、私と会長で市長に答申しました。収集回数については、回数を減らすと同時にごみを減らすということで、雑がみをきちんと分別するところまで審議しました。収集回数については、もう少し審議していきたいと思ひます。</p> <p>以上を持ちまして、第5回の廃棄物減量等推進審議会を終了いたします。ありがとうございました。</p>

発 言 者	発 言 内 容
議事のでん末・概要を記載し、その相違なきことを証するためここに署名する。	
令和 5 年 3 月 10 日	
議 長 の 署 名	小林昌彦
議長が指名した者の署名	永井健一